

！農作業事故警報！

耕耘機の農作業死亡事故 が発生しています！！



○農作業中、耕耘機（バック状態）とビニルハウスの骨組み
に挟まれ、頸部を圧迫され死亡

安全対策のポイント

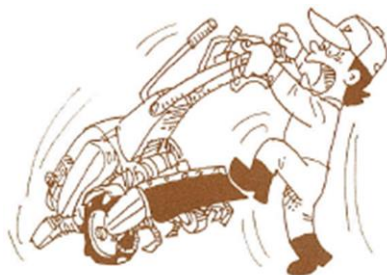
✓ バックしたときに障害となる立木、格納庫の壁、ハウスの壁、崖などがない。

《改善のポイント》

作業開始前に、足元や周りの障害物の状況を確認して事前に除去するとともに、バック時の後方確認を行います。

《追加のポイント》

後退時は跳ね上がりに注意しましょう。



後退時跳ね上がり

耕うん機事故の4つの特徴

- 1 後退時の事故（24.1%）
 - 木や壁との間の挟まれ、踏み
 - ⇒障害物等の事前確認、後方確認
- 2 土壌が固いことによる事故（24.1%）
 - ダッシング、キックバック
 - ⇒一気の深起こしや高速回転の禁止
- 3 作業中の事故（20.7%）
 - 回転部への異物の詰まり除去
 - ⇒確実にエンジンを切ってから
- 4 機械の積み下ろしの際の事故（20.7%）
 - 積み下ろし場所、あゆみ板、無理な姿勢
 - ⇒小さく軽くても慎重に

（一社）日本農村医学会編「こうして起こった農作業事故」(No.IV) p54より

【お問い合わせ】熊本県農林水産部生産経営局農業技術課

TEL 096-333-2380 FAX 096-381-8491